

## ○北海道における林業労働災害の現況

造林や伐採などの森林作業は屋外での作業のため、天候の影響を受けやすく、さらに傾斜地等の足場の悪い場所でチェーンソー等の機械や丸太等の重量物を扱う作業が多いことなどから、労働災害の発生頻度は他産業に比べて著しく高い状況にあります。

### 1 林業労働災害発生件数(死亡・休業4日以上)

死傷者数は減少傾向にはありますが、令和4年は死亡災害が1件、休業4日以上の災害が80件発生しました。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
死亡	4	4	4	4	5	5	6	8	4	1	1
休業	125	112	116	98	120	94	84	94	77	73	80
死傷計	129	116	120	102	125	99	90	102	81	74	81

### 2 業種別死傷年千人率の推移

林業における労働災害の発生頻度は、全産業の中で最も高い状況にあります。

業種	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全産業	3.0	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.1	3.6	3.8
林業	28.6	25.7	26.3	22.4	27.7	22.0	20.0	22.6	18.0	16.4
鉱業	8.6	11.2	12.2	11.2	8.1	11.9	11.4	13.0	12.4	14.1
建設業	5.1	5.4	5.4	5.3	5.0	4.8	5.3	5.1	5.0	5.3
製造業	5.9	6.1	5.8	5.9	6.3	6.2	6.2	5.7	5.9	6.2

注：死傷年千人率とは労働者千人当たりの年間労働災害発生数  
※北海道労働局データ(労働災害発生の動向)に基づき作成

### 3 月別死亡災害発生状況(平成24年～令和3年累積)

月別では、5月が最も多くなっていますが、除間伐、主伐が行われる秋から冬にかけても発生しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死亡件数	4	4	5	3	6	5	1	3	4	2	4	4

### 4 経験年数別死亡災害発生状況(平成24年～令和3年累積)

経験年数別では、10年前後の発生件数が多く、40年以上の熟練者でも発生しています。

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上
死亡件数	3	4	8	11	5	4	1	3	0	6

### 5 年齢別死亡者数(平成24年～令和3年累積)

年齢別では、60歳以上が全体の5割を占めています。

	20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上
死亡件数	0	0	3	6	13	17	6